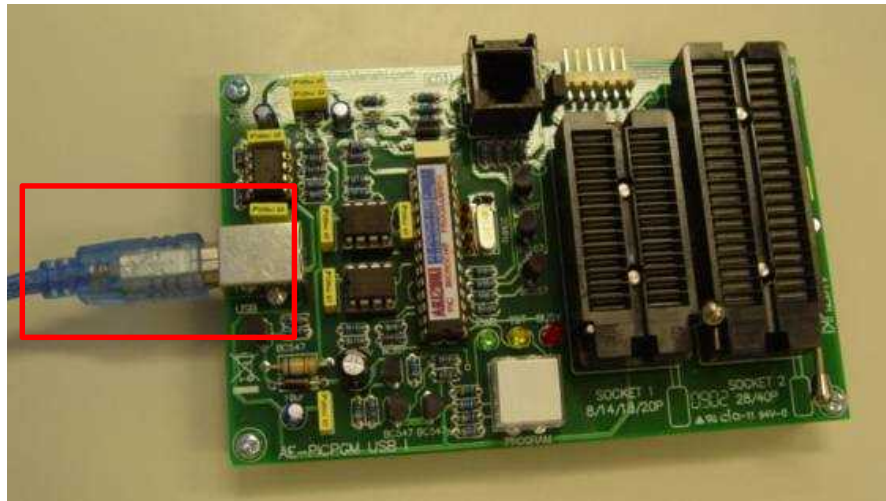


PICライターの使い方

1. PICライターとパソコンの接続

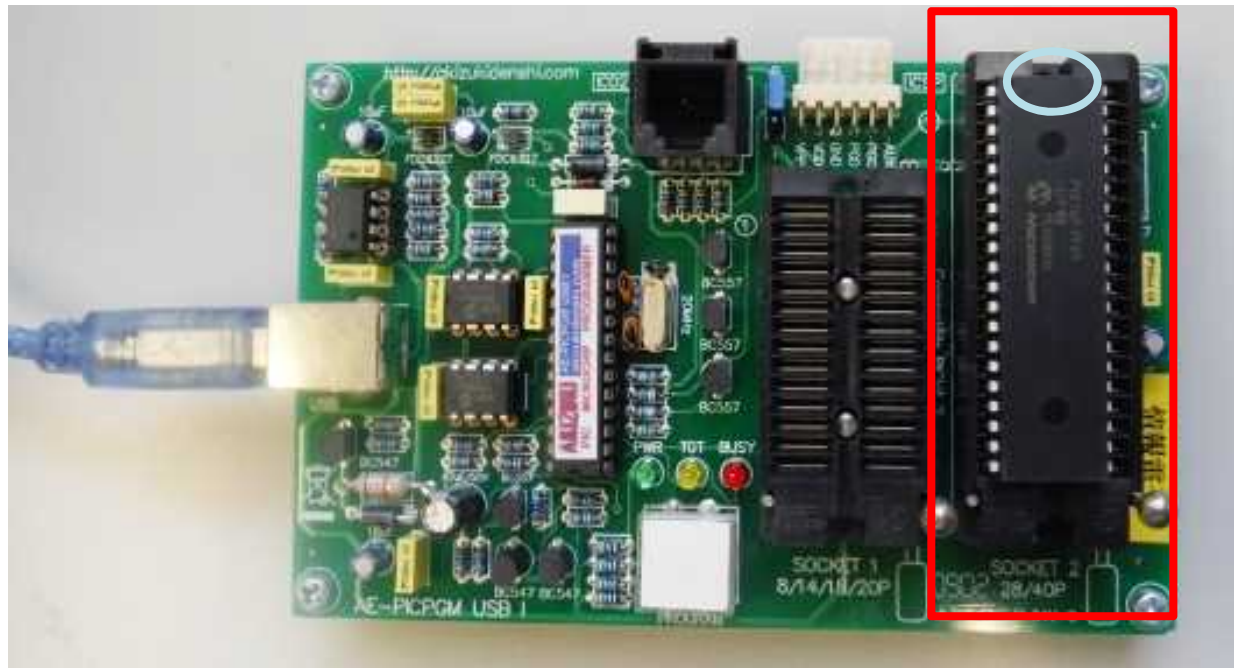
PICライター(PIC kit2)とパソコンをUSBケーブルで接続する。
(PICライター側はUSB Bタイプのコネクタ)



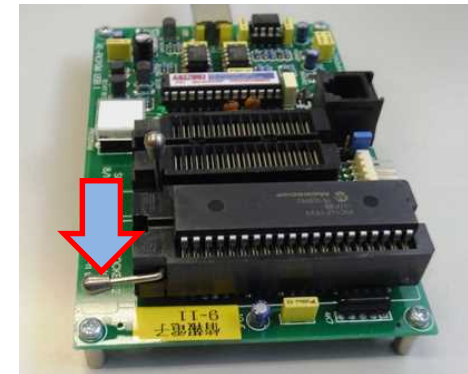
- ・ PICライターにPICマイコンを載せて書き込みを行う場合は、次の2Aに！
- ・ ターゲット基板接続アダプタを利用して書き込みを行う場合は、**2B**へ進む

2A. PICマイコンをライターに載せる

- ①40ピンのソケットのレバーを起こしてから、PICマイコンを載せる。
PICマイコンの切欠き部分が上向きになるように合わせること。
- ②ソケットのレバーを倒し、PICマイコンをロックする。

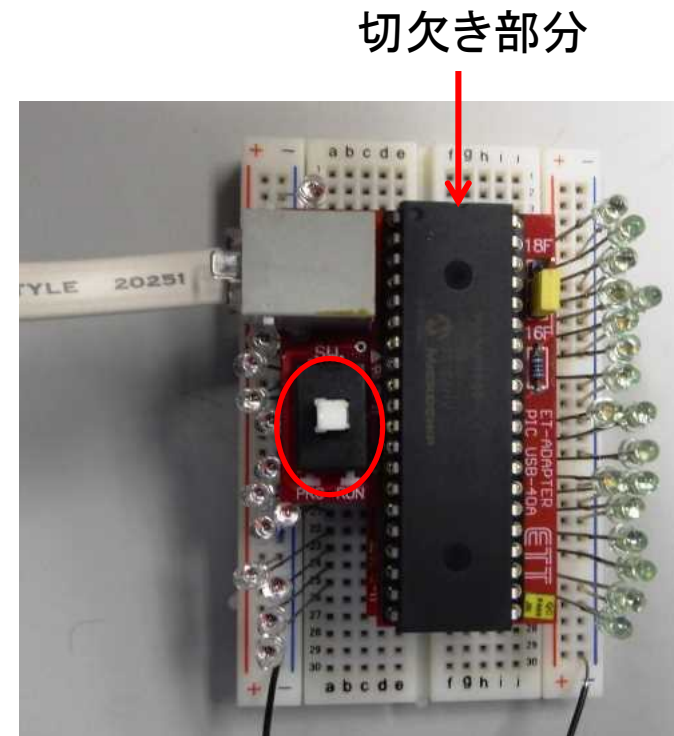


レバーを倒すと、
マイコンは固定される



2B. ターゲット基板接続アダプタを繋ぐ

- ①PICライターとターゲット基板接続アダプタを白いモジュラーケーブルで接続する。
- ②ターゲット基板のソケットにアダプタを挿し、PICマイコンを載せる。
PICマイコンの切欠き部分が上向きになるように合わせること。
- ③SWをPRGにする。

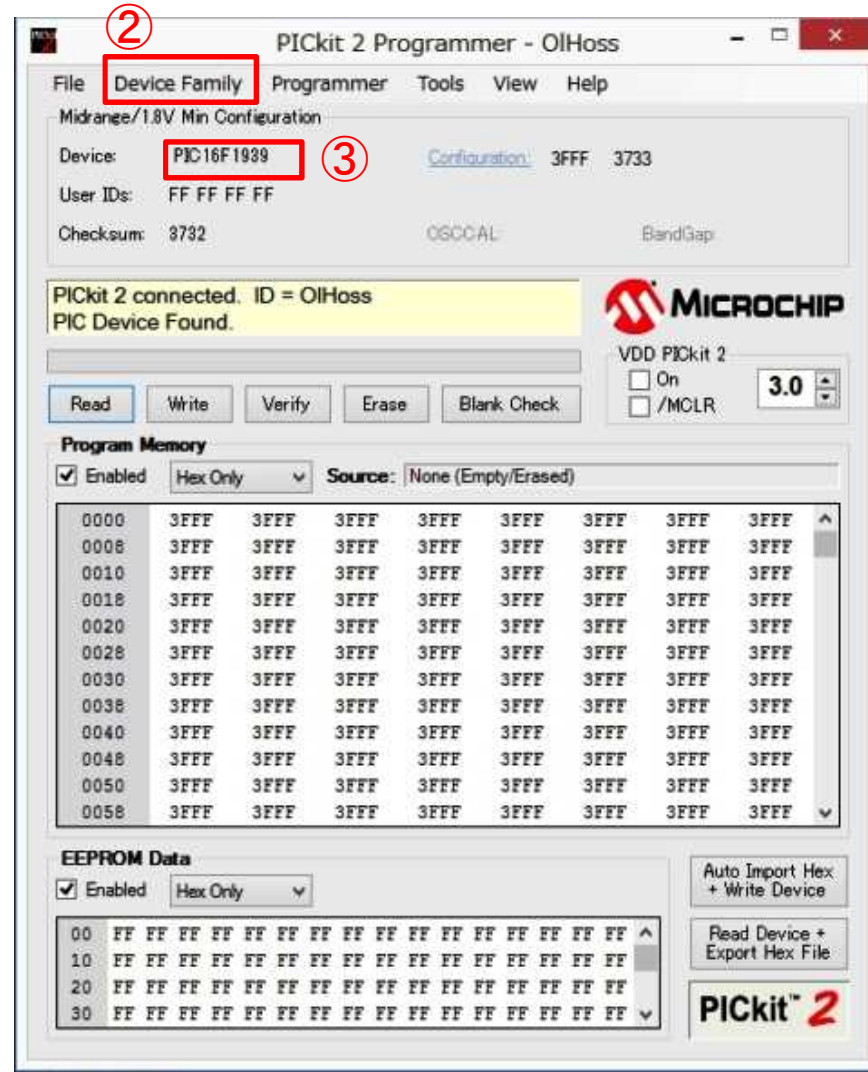


1. PICkit2の起動とデバイスの選択

- ① デスクトップ上のアイコン「PICkit2 v2.61」をクリックして、PICライターのソフトウェアを起動する。

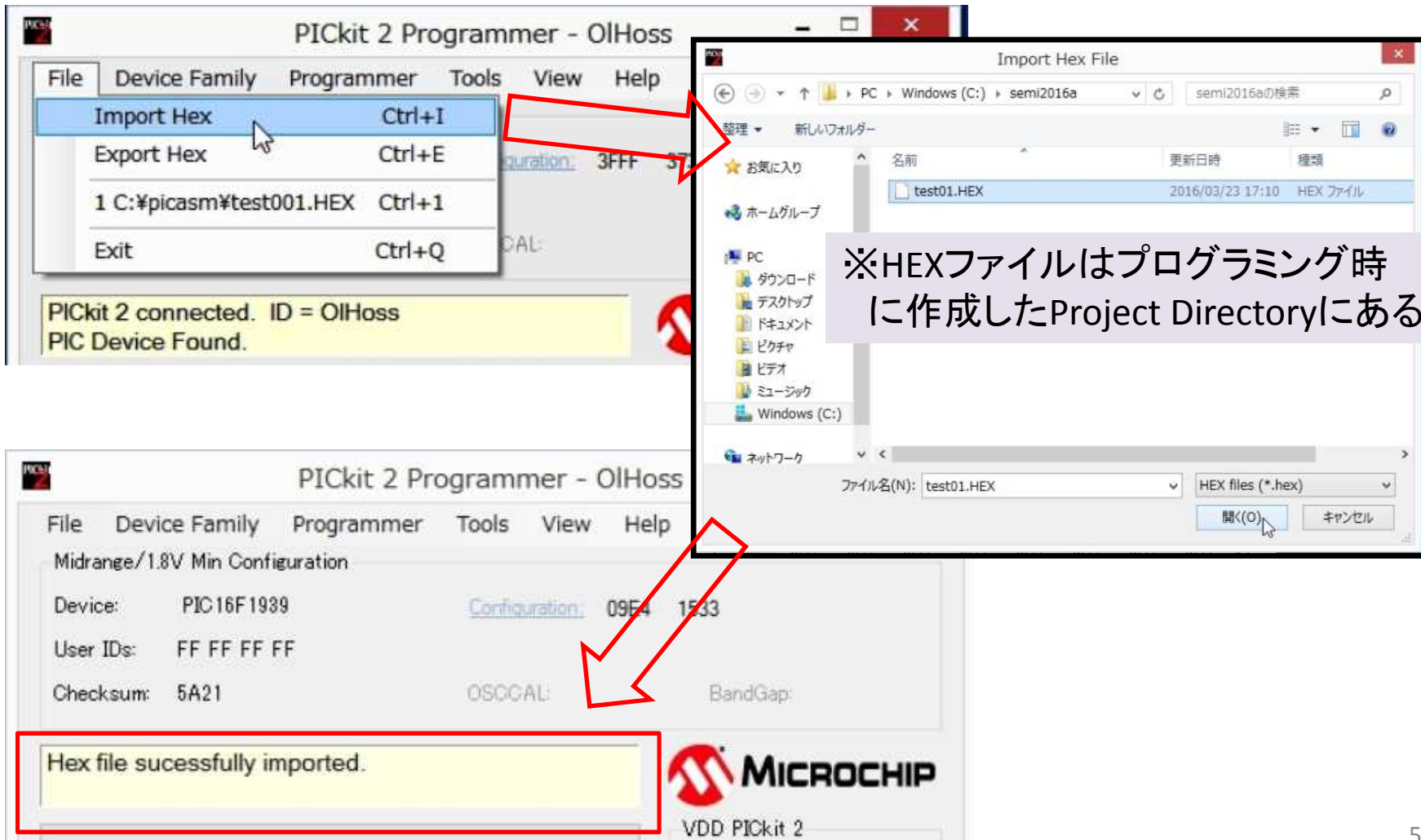


- ② メニューの「Device Family」から「Midrange」-「1.8V Min」を選択する。
- ③ Device のリスト (-Select Part-)から「PIC16F1939」を選択する。



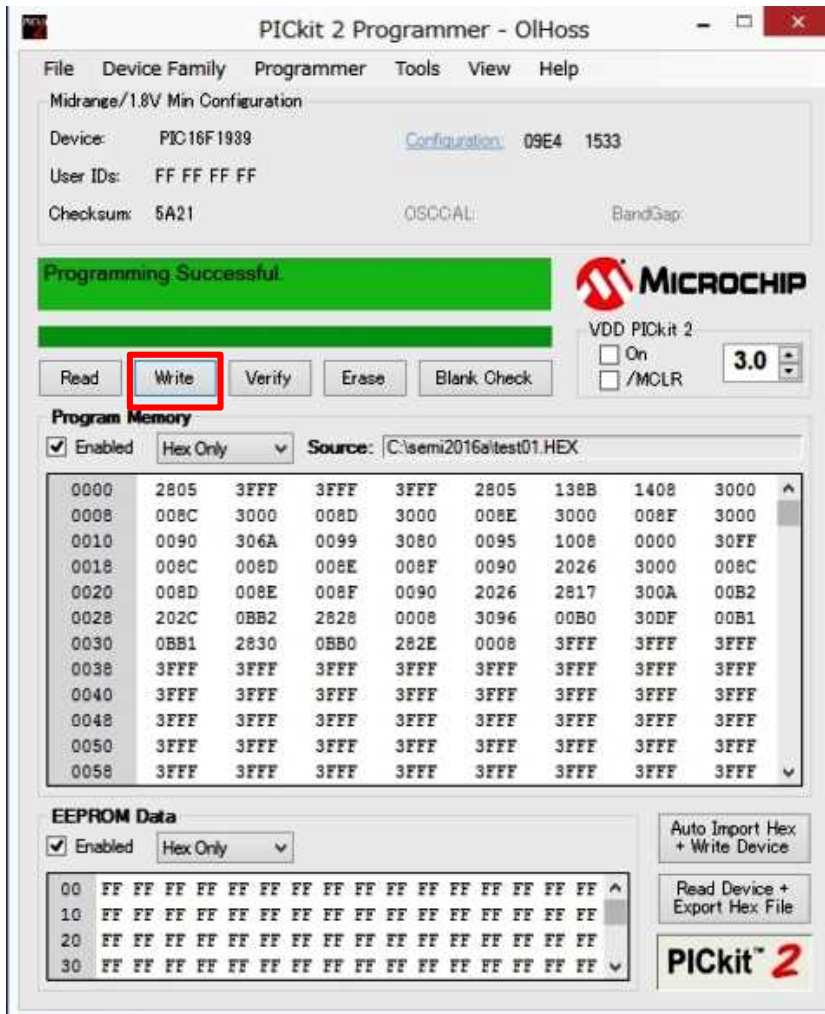
2. HEXファイルの読み込み

メニューの「File」から「Import Hex」を選択し、書き込みを行うHEXファイルを指定する。



3. PICマイコンへの書込み

「Write」ボタンを押すとPICマイコンへの書込みを実施します。



i) PICマイコンをライターに載せている場合は、ソケットのレバーを起こして、PICマイコンを取り出します。

ii) ターゲット基板接続アダプタを繋いでいる場合は、下図のとおりVDD PICKit 2のOnに☑(チェック)を付けると、ターゲット基板に電源が供給され、動作確認を行うことができます。

